



南房総のハズシ

[発行]

南房総教育事務所指導室

令和2年9月29日

第8号

みんなで取り組む特別支援教育



- 第3回テーマ いろいろな気質をもつ子の理解「敏感な子」 -

【 人一倍敏感な子「HSC」を知っていますか？ 】

「ハイリーセンシティブチャイルド（HSC）」は、米国の心理学者、エレーン・N・アーロンさんが提唱した概念で、著書の「ひといちばい敏感な子」（一万年堂）によると、

- | | |
|--|------------------------------|
| <p>HSCは（1）深く考えすぎる
（2）過剰に刺激を受けやすい
（3）感情の反応が強く、共感力が高い
（4）ささいな刺激を察知する</p> | <p>※すべての特徴が見られるわけではありません</p> |
|--|------------------------------|



という特徴があります。

例えば、○じっくり考えすぎるあまり、行動に移すまでに時間がかかる。



○服のタグや縫い目、マスクなど身に着けるものの不快さを訴える。

○怒られている人がいると、自分が怒られているわけではないのに不安を感じ、不安定になる。

○物の配置が変わる、声のトーンが違う等、場所や人の微妙な変化に気づき、疲れてしまう。

などが挙げられます。クラスにもいませんか・・・？

感受性が強く、敏感なため、集団生活になじめなかったり、その行動から「わがまま」と誤解されたりすることも少なくありません。病気や障害ではなく生まれもった気質であり、周りの理解が大事であるとともに、うまくつき合っていくための自身のコントロール力を育むことも必要になります。

○できないことに目を向けるよりも長所を認めて、励ます。

○「指示型」より「質問型」の言い方をする。（例：「○○しなさい」⇒「今は何をやる時間かな？」）

○するべきではないことをしてしまった時には、頭ごなしに責めず「居心地の悪さ」に寄り添う。

（例：「もしかしたら、○○〔状況や理由〕で我慢できなかったのかな」と穏やかに言葉をかける）

以上のようなことを心がけてかわり、成功体験を積みながら自己肯定感を育むことができるように支援することが大切です。

- 特別支援学級・通級指導教室の実践情報 Withコロナ③ -

【 手洗い・うがい 指導の工夫例 】



「しっかり」「ちゃんと」等、抽象的な言葉から行動にうつすことが苦手な子どもたちがいます。

手洗いについて考えると、目に見えるのが自分の手と泡と水なので、どのくらいの時間洗えばよいのか、どれくらいの石けんや水を使えばよいのか、目安となる量が示しにくいこともあり、「手洗い歌」等で一緒に取り組んでいる学校も多いと思います。

先日訪問に行った学校の取り組みを紹介します。先生が手洗いの前に子どもたちに、『ポン』と手洗い用のはんこを押していました。手洗い用のはんこは安全性に配慮した食用色素が使用されています。この小さなはんこが子どもの手の平や甲に押され、消えるまで手を洗うことで、どのくらいまで洗うのかという具体的なゴールを示すことができます。

うがいの指導例では、口腔内の奥まで水が含まれるように、うがいをする場所の天井に絵や文字をはり、そこに注目するよう促す工夫をしている学校もありました。



－ みんなの自立活動③ －

【 実態に合わせた学びの重要性 一見え方相談会から一 】



夏季休業中の8月に、館山市コミュニティセンターで千葉県立千葉盲学校地域支援部の先生方による「見え方相談会」が開催されました。見え方相談会は、居住地に近い場所で相談できるように、千葉県内各地で行われています。相談会で地域支援部の先生から、

「例年、小学1年生は9月から本格的な漢字の勉強が始まります。そのために夏休みの課題ではカタカナの定着を図っていたと思われませんが、今年の夏休みは2週間程度と短く、カタカナが未定着のまま登校している子どももいます。漢字学習のスタートはカタカナです。まずはカタカナを書けるかどうか確認をするようにしてほしいです。」というお話がありました。

見え方に困難を抱えたお子さんにとって、似た形のカタカナ、逆に複雑な形の漢字というものは「書けない」原因にもなります。自立活動の6項目のうちの一つ「環境の把握」の観点から、見え方にどのような課題があるのか、にも着目してみましょう。

<間違えやすいカタカナの覚え方の一例>

○間違えやすいカタカナの覚え方「シ」・「ツ」、「ソ」・「ン」

⇒ひらがなでの鉛筆の流れを声に出しながら違いを意識できるようにする。

例 ひらがなの最後の部分に注目して、

- ・「し」は下から上に流れるので、カタカナの3画目も下から上に「シ」と書く。
- ・「つ」は上から下に流れるので、カタカナの3画目も上から下に「ツ」と書く。
- ・「そ」は上から下に流れるので、カタカナの2画目も上から下に「ソ」と書く。
- ・「ん」は下から上に流れるので、カタカナの2画目も下から上に「ン」と書く。

これ以外にも、見え方に困難をかかえている子どもはいます。

<見え方についてのおすすめアプリ紹介>

(『見え方のQ&A令和2年度版』より抜粋 千葉県視覚障害教育ネットワーク推進連絡協議会作成)

アプリ名	アイコン	簡単な説明	有料/無料
UDブラウザ		見やすさや使いやすさを考慮して作成した教科書等を見るアプリです。紙の教科書と同じレイアウトです。	無料
デイジーポッド		マルチメディアデイジー教科書を開くことができます。(iOSのデイジーポッドは、R3年3月末で提供終了。「しゃべる教科書」という未詳アプリへの切り替えが必要。Windows用のデイジーポッドは提供継続。)	無料
明るく大きく		白く黒斑点などの、見やすい色合いに変えることができます。読みにくい文字を、「明るく」「大きく」「くっきり」と表示してくれるアプリです。	無料
色のシミュレータ		他の人の色の見え方を体験しよう！様々な色覚特性を持つ人の色の見え方を体験するための色覚シミュレーションツールです。	無料

6月の学校再開から、学習の遅れを取り戻すことや学びの保障を考え、各学校では年間指導計画の見直しをされたことと思います。特別支援学級、通級指導教室においては、一人一人の実態に合わせた内容、方法で、学習の定着や積み重ねを大切に、できることを増やして欲しいと思います。

【文責：特別支援教育班】